

令和9年度入学 学校説明会資料

板橋区立赤塚第一中学校

「教育は人が幸せに生きるためにあります」という板橋区の基本的な考え方のもと、「MIRAI SCHOOL いたばしー教育ビジョン2035」及び「MIRAI SCHOOL いたばしーアクションプラン2028」を踏まえ、本校で学ぶ生徒、保護者、地域の実態に応じて、願い・期待に応える学校をめざす。

【MIRAI SCHOOL いたばし】

Motivation 自分らしく進むチカラ

ありのままの自分を受け入れることで、仲間とともに成長し、未来に進む原動力をもつことができる
(自己受容・他者信頼・他者貢献)

Inclusion 認め合って生きるチカラ

個性や立場が違って、人の話に耳を傾け、力を合わせて問題を解決できる(共生)

Relation つながり助け合うチカラ

まわりの人を助けるために、社会に貢献するために、自分ごととして誰かのためにできることを探し行動することができる(貢献)

Activation 自ら行動を起こすチカラ

やるべきことを、自ら考え、判断し、自分から挑戦することができる(自立)

Innovation ゼロから切り拓くチカラ

目に見えない課題に気づき、正解のない課題でもゼロからイチを創り出すことができる(創造)

1 教育目標

「誠実」 「自主」 「健康」

人権尊重の教育を基調に置いた教育活動を展開し、生徒一人ひとりが思いやりの心を持ち、自己肯定感を高め、主体的に学習活動に取り組む中で、社会の変化に対応できる力を身に付けることができるよう、次のような生徒の育成をめざす。

- 誠実で思いやりがある心身ともに健康な生徒
- 自主・自立の精神と知性・感性に富んだ生徒
- 自らを律し、共にたくましく生きる生徒

2 行動目標

「知る」 「考える」 「対話する」(合意形成・自己決定) 「行動する」

授業や読書、本、パソコンなどからの知識、体験や挑戦から得られた学び、自分自身についてなど様々なことを知り、視野を広げる。それらの生きて働く知識を基に自分自身で「問い」を立て深く考えたり、「もし…なら」と仮説を立て考えたりしながら、自分の納得できる解答を考え、自分の意見をもつ。そして、自分の意見を伝え合い、他の人の意見を傾聴し、さらに考え、自己調整しながら、思考や行動を修正し、合意形成を図り、自ら選択し、挑戦したり、課題解決し切り拓いたりできる生徒の育成をめざす。

3 めざす学校 ～誰もが幸せを感じられる学校～

- 生命や安全が確保され、安心できる学校
- 誰一人取り残さない多様な学びのできる学校
- 可能性を引き出し、「好き」を育み、「得意」を伸ばし、自分らしく自己実現できる学校 (M)

- 自他を尊重し、認め合い、励まし合い、支え合い、高め合える学校 (I)
- 保護者、地域、学校がつながり、「チーム赤一」として互いに支援し合える学校 (R)
- 社会的な課題を見付け、目標をもち、課題解決に向けてできることを考え、初発の思考や行動を自ら起こすこと（挑戦）ができる学校 (A)
- 思考・判断・表現につながる生きて働く知識・技能を身に付け、深い学びのできる学校 (I)

4 めざす生徒像

- 自他の可能性、「好き」、「得意」を見付け、伸ばすことができる生徒 (M)
- 心身ともに健康で、自他を尊重し、認め合い、励まし合い、支え合い、高め合える生徒 (I)
- 自分の意見を表現し、多様な他者と対話し合意ができる生徒 (I)
- 地域や学校等のボランティア活動に積極的に参加する等他者貢献できる生徒 (R)
- 目標をもち、自ら考え、失敗を恐れず挑戦する生徒 (A)
- 自ら課題を見付け、自ら考え、伝え、判断し、主体的に粘り強く切り拓き、自己指導能力を身に付けた生徒 (A I)
- 分からないことやできないことにも諦めずに、主体的に根気強く取り組み、自己調整力を身に付け、切り拓いていける生徒

5 重点目標

- (1) 豊かな心、共感的な人間関係の育成（生命尊重・人権尊重教育の充実、思いやりと感謝の気持ちの育成）
 - ・ 自他尊重
 - 認め合い、励まし合い、支え合える関係
 - どんな理由があってもいじめはいけない意識の向上
 - ・ 生命の大切さ 生命の安全教育
 - ・ 活躍の場づくり
 - 一人一役、一人一作品 生徒が企画・運営する場の設定
 - ・ 失敗を恐れず挑戦
- (2) 確かな学力の定着・向上
 - ・ 板橋授業スタンダードの徹底、板橋授業スタンダードSの取組
 - ・ 一人一台端末の日常的な活用
 - ・ 気付き、考えのもてる授業
 - ・ 個→グループ、ペア→個 で自分の考えを深める授業
 - ・ 振り返りで自己調整力の育成 家庭学習習慣
 - ・ 読み解く力（200字程度文章）の育成 Input-Think-Output
 - ・ 読書習慣（毎朝10分間読書の時間） 電子図書館の活用
- (3) 自治力、自己指導能力の育成
 - ・ 自己有用感、自己肯定感の向上
 - ・ 生徒の主体的な活動
- (4) 健やかな体の育成 体力の向上、食育の推進
 - ・ 体力テスト結果分析から補強運動
 - ・ 毎日の給食 NEWS と毎月の給食だより
- (5) 小中一貫教育
 - ・ 一教科一取組
- (6) 学校・家庭・地域の連携・協働し、共に歩む学校づくりの推進
- (7) 居場所 AsIs Room づくりの充実

6 特別支援教室（STEP UP 教室）、特別支援学級併設

（1）STEP UP 教室

①目的

発達障がい等のある生徒が抱える生活上、学習上の「つまずき」を改善・克服し、学校生活にうまく適応できるようにする

②本校の目標

- ・情緒の安定を図り、柔軟な対人関係を育てる。
- ・自己理解を深め、様々な課題に積極的に、意欲的に取り組む姿勢を育てる。
- ・考える力や社会性を伸ばし、自分の行動を自分で決定する力を育てる。

③指導の重点

- ・個々の課題を意識できるように日常生活の振り返りの時間を重視し、自己理解を深めさせる。
- ・小集団での話合いや関わり合いの機会を多くもち、社会性を伸ばす。
- ・進路学習を計画的に行い、具体的なイメージをもって進路について考えられるようにする。
- ・体験学習を通して多様な経験ができるようにし、生徒の学習意欲と自己肯定感を高める。

④利用時間 一週間に1時間

（2）特別支援学級（知的）

①目標 自己の伸長、将来の社会的自立をめざす

②めざす生徒像 ○他を思いやり、協調性のある人間性豊かな生徒

○向上心をもち、自主的に学ぶ生徒

○健康な心身と、困難にくじけず乗り越える強い精神力をもった生徒

③基本方針

- ・個の特性に合わせた学習内容、学習形態等を設定し、向上心を養い、自主的に学ぶ意欲を培う。
- ・行事や委員会活動、部活動等様々な体験学習を通して、自立心、社会性、協調性を育成する。
- ・職場体験学習、上級学校訪問等を通して、社会的・職業的自立に向けての資質・能力を育てる。

②連合行事への参加

- ・連合球技大会（10月）
- ・交流エリア（徳丸小学校、赤塚新町小学校）との文化的交流（7月と11月）

7 令和8年度時程

登校	8時10分から8時25分
朝読書	8時25分から8時35分
月、火、木、金	6校時授業 下校 15時50分
水	5校時授業 下校 14時40分
最終下校	18時10分

8 令和8年度在籍

第7学年	6学級	206名（*35名学級）
第8学年	4学級	157名
第9学年	5学級	188名
7組		22名

9 令和8年度学校行事

(1) 5月 運動会

10月 合唱コンクール

3月 学習発表会

(2) 宿泊学習

・9月 修学旅行（第9学年） ・10月 富士見高原移動教室（第7学年）

・1月 スキー教室（第8学年）

(3) 教育相談・三者面談

・5月から7月 スクールカウンセラーによる全員面接（第7学年）

・7月（夏季休業中）、12月 三者面談（全学年）

・10月 進路三者面談（第9学年）

(4) 学習

・6月 職場体験（第8学年）

・7月 租税教室（第9学年）、セーフティ教室（全学年）

・10月 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（ゴスペル）（第8学年）

・2月 笑顔と学びの体験活動プロジェクト（ダブルダッチ）（第7学年）

10 卒業生の主な進路（令和8年3月卒業生）

	都 立		私立	特別 支援	専修 学校	他	合計
	普通	専門					
計	65	23	88	0	1	1	178

11 生活指導基本方針

「生徒が基本的な生活習慣を身に付け、安心して生活できる学校」

(1) 基本的な生活習慣・授業規律を身に付けさせる。

(2) 生徒同士、生徒と教員との相互理解を基盤とした教育相談活動を充実させ、良さを認め、褒めることにより信頼感のある人間関係を構築し、いじめ・不登校のない学校をめざす。

(3) 生活指導部教育相談部門での学年間の連携を密にし、スクールカウンセラー、学力向上専門員を有効に活用することにより、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努める。

(4) 家庭・地域・SSW・巡回指導講師などの関係諸機関との連携を密にし、問題行動を未然に防止する。

12 生活指導の重点

○あいさつの励行

○授業規律の徹底（時間を守る、聞く姿勢）

○生徒会活動の充実

・あいさつの励行

・授業規律の徹底

・責任ある行動の徹底

・生徒会活動の充実

・美化活動の推進

・保護者との協力、連携

1 3 令和8年度部活動

技術向上だけでなく、協調性やリーダーシップ、諦めずに粘り強く取り組む姿勢を身に付ける活動運動部

- ・バスケットボール
- ・剣道
- ・バレーボール（女子）
- ・サッカー
- ・ソフトテニス
- ・陸上競技

文化部

- ・吹奏楽
- ・英語
- ・美術
- ・茶道
- ・栽培
- ・家庭科研究
- ・将棋
- ・7組アクティビティー

※教員の異動の関係で来年度以降も同体制とは限りません。

※板橋区では、野球とバドミントンは地域移行しました。

1 4 学校指定品

- (1) 標準服 冬服 ブレザー、スラックスまたはスカート、リボンまたはネクタイ
夏服 紺ポロシャツ、スラックスまたはスカート
ベスト

- (2) 体育着 半袖シャツ（白）、ハーフパンツ、ジャージ上下
*令和10年度より半袖シャツは紺になります。

- (3) 上履き 新しいタイプになります。

※令和9年度より指定カバンがなくなりますが、両手のあくリュック型で、机の横に掛けることができる大きさ（60cm×35cm×15cm以内）をお願いします。

※令和9年度より夏服は白のワイシャツから紺ポロシャツに変更します。

1 5 販売店

- (1) イオン 標準服、体育着、上履き
(2) Ben&Ben 大山店 標準服、体育着、上履き
(3) ASA 朝日新聞店 体育着、上履き

※標準服は店舗により素材が異なります。

※半袖紺ポロシャツ、体育着、上履きは、すべての店舗で共通です。

※店舗により、標準服、体育着、上履きの価格は異なるので、価格をご確認ください。

10月頃、本校ホームページに指定品購入一覧及び店舗案内を掲載します。

本日の説明会参加確認
二次元コード

